

澤尻（八学大）マスタート位 悔い残す

全日本距離別スピード第2日



【女子マスタート】集団を先頭で引っ張る澤尻磨里英（八学大）
©Y.S.アリーナ八戸

選手が一斉にスタートを切るマスタート。先頭を連勝するなど、この種目の滑る選手には風圧がかかる実力者として知られる女子のため、位置取りを巡る選手の同士の駆け引きが重要だ。しほも2位に終わった。

実力者 ゴール前競り負け 澤尻

11人が一団でスタート。コースを16周、計6・4分滑る。1周目は「お先にどうぞ」と言わんばかりの探り合いが続く。少しずつ定まるポジション。この時、澤尻は「マークがきつ」と滑りづらさを感じていた。レース中盤、隊列が前後に分かれ、2番手集団の先頭に押し出された。ペースが上がったり下がったり、時にはブレーキをかけたたりする厳しい消耗戦。さすがの澤尻も、徹底的なマークに途中から脚が悲鳴を上げていた。「行くならこた」。再び一つになった隊列から、いち早くスタートをかけた力強く先頭に。それを見てペースを上げ、追いつく他の選手たち。「あと少し」。澤尻は先頭のまま最後の直線を迎えたが、ゴール前でわずかにかわされた。「ずっと1位だったから悔しい」。この種目では一昨年以來という敗戦に肩を落とした。過酷と思われがちな種目だが、澤尻は「好き」という。「みんなで滑るのが楽しいから」。この時はかりは表情がぱっと明るくなった。（工藤俊介）